

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	3 学生
中項目	
小項目	3.0.1 求める学生像
要素	<p>入学選抜において求める学生像の学生を実際に入学させているか。</p> <p>入学志願者層に入学選抜を受ける公正な機会を提供しているか。</p> <p>「教育研究上の目的」の達成を担う学生像を継続的に検証しているか。</p>
小項目	3.0.2 アドミッション・ポリシーと入学選抜
要素	<p>アドミッション・ポリシーは、「教育研究上の目的」を達成する内容のものとなっているか。</p> <p>アドミッション・ポリシーとアドミッション・ポリシーに従った入学出願資格条件を募集要項等の印刷物に明確に記載し、入学出願者に周知公表しているか。</p> <p>入学選抜において、出願者の適性及び能力等を客観的かつ厳格に評価する選抜をしているか。</p> <p>入学選抜において、実入学者数が入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組を行うなど入学定員と実入学者数との関係の適正化を図っているか。</p> <p>入学選抜において、経済のグローバル化に対応して多様な知識または経験を有する入学生の多様化に努めているか。</p>
小項目	3.0.3 学生支援
要素	<p>経済的支援を求める学生に対して、必要な措置を講じているか。</p> <p>学生の進路指導及びキャリア形成支援を求める学生に対して、必要な情報収集、情報管理、情報提供及び学生相談等の支援を行う事務組織体制を整備しているか。</p> <p>学生生活の支援を求める学生に対して、学業及び学生生活に関する相談・助言等を行う支援体制を整備しているか。</p> <p>特別な支援を求める留学生及び障害のある学生に対して、学習支援及び生活支援等を適切に行っているか。</p>
小項目	3.0.4 学生の学業奨励
要素	<p>学業成績優秀な学生に対して報奨する制度を整備しているか。</p> <p>学業継続の困難な学生に対して経済的支援や学習支援等の相談を行う体制を整備しているか。</p> <p>学生の学業奨励のために、入学時や新学期授業開始前に、また、教育課程の変更時にオリエンテーションを実施しているか。</p>

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. Increase the number of applicants for Corporate Strategic Management Course. 企業経営戦略コースの志願者数を増加させること	→Improve the quality and quantity of PR activities and improve the scholarship system. 広報活動の質・量の拡充；奨学金制度の充実	C
2. Increase the quality of accepted students. (学生の質の向上。)	→Scores for entrance examination, averaged over accepted students. (入学者の入学試験の平均点の上昇)	B
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

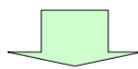
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目3.0.1	(現状説明) 面接、筆記試験等多面的な評価で合格者を選抜しているが、志願者数の絶対数が十分でなく入学者の資質に改善の余地がある。 年に3回の入試と、頻繁に入試説明会を行う等、十分な入学機会を提供している。 学生像については社会や企業のニーズを踏まえ常に見直しを行っている。
★ 小項目3.0.2	(現状説明) アドミッションポリシーは教育研究上の目的と整合を取るべく見直しをし公に提示している。 入学試験は厳正、慎重に行っている。 入学志願者数は開校以来入学定員を常に上回っているが、さらに増加させるべく様々な方策を実施してきた。 入学者は年代、職種等非常に幅広い。現役の経営者も多い。
★ 小項目3.0.3	(現状説明) 公的な奨学金制度に加え、本学独自の奨学制度があり、総合的には手厚いと考えられる。しかし、せっかくの制度も事前に学生に知られていなければ効果がない。
★ 小項目3.0.4	(現状説明) 奨学金の割り当ては学業成績を考慮している。 学業継続が困難な学生に対しては、理由に応じて教務学生委員がきめ細かく対応している。 毎期、学業奨励のため奨学金制度のオリエンテーションを実施している。
★ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目3.0.1	若干であるが、志願者のうちで修了生からの紹介者が増加している。
小項目3.0.2	
★小項目3.0.3	
小項目3.0.4	
その他	



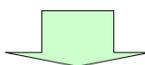
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目3.0.1	修了生が中心になっているIBA研究フォーラムの活動をより一層強化する。
小項目3.0.2	
★小項目3.0.3	
小項目3.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目3.0.1	
小項目3.0.2	
★小項目3.0.3	入試説明会にて充実した奨学金制度を十分に広報できていない。
小項目3.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目3.0.1	
小項目3.0.2	
★小項目3.0.3	入試説明会にて充実した奨学金制度を十分に、かつ分かりやすく広報する。
小項目3.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 具体的かつ適切に評価されています。
- 研究科の質を維持する上で、入学者の資質維持は重要と思われます。「修了生からの紹介が増加している」ということから、伸長させる方策としてスキームを確立するなど、具体的な方策が講じられることが期待されます。
- 奨学金について、競合する他大学研究科との比較ではどうなのでしょう？十分に分かりやすく広報する具体的な方策を実行に移されることが期待されます。
- 2009年度の分野別認証評価において課題が示されています。対応はいかがでしょうか。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★研究フォーラムを生涯教育の柱として位置づけ、聴講生制度の拡充や東京転勤修了生の支援を行う。また、この点を入試説明会でも強調し、本学の特徴としてアピールする。